

飛翔

MORiS

モリスグループ
創業90周年記念誌
MORiS

飛翔

創業者の愛した上杉鷹山の言葉

なせば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり

その精神を継承した90年の伝統と革新をここに記す

モリスグループ

創業90周年記念誌

MORIS

モリスグループCEO
森本 幸吉・礼子

感謝の90年 そして豊かなコミュニティづくり これからも

昭和・平成・令和と、時代の荒波を乗り越え、ここに創業90周年を迎えますことは誠に感慨深く、大きな喜びでございます。これもひとえに皆様のご厚情の賜物と、心より感謝申し上げます。

祖父幸治は、兵庫県山間部、峯山高原の麓の神崎郡上小田村で7人兄弟の長男として生まれ、小学校卒業間もなく父親を亡くし一家の生計を支える身となりました。「この狭い谷間で一生暮らすのも人生なら、広い世界で思う存分闘うのも人生だろう」と意を決して、臨海部の印南郡米田村に居を移し「森本材木店」を創業しました。無い無い尽くしの創業でしたが、「なせば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」を心の糧として、精進を重ねて今日の礎を築きました。

父克己は、先取の経営を志し、住まいのあらゆるご相談に応じる「マイホームセンターモリモト」を創業して、住宅事業に参入しました。また、高砂商工会議所会頭をはじめ数々の公職も歴任し、地域社会の発展に尽力しました。

三代目として事業を承継した私の経営人生も、早や40年が経過しようとしています。時代の変化とお客様のニーズに対応して「伝統は革新をもって維持する」を経営の指針に据え、歩んでまいりました。

振り返りますと最初の10年は、材木店からホームセンターへの事業転換に取り組みしました。続く10年

は、小売・サービス業を中心に多角化、多店舗化に邁進しました。しかし、レッドオーシャンの激しい競争市場で売上拡大にひた走る経営に疑問を感じ、新しい領域で他社と競合することなく事業展開を目指すブルーオーシャン戦略に舵を切り、既存事業の見直しと新規事業の立ち上げに挑みました。その間、提携先企業様に社員の雇用継続を前提とした事業譲渡という苦渋の決断もいたしました。

そして、直近の10年は「豊かなコミュニティづくり」をパーパスとして、健康・教育・小売・不動産の4つの事業を柱として経営品質の向上に努め、「いい会社づくり」を目指してまいりました。その結果、「稲盛経営者賞」「全国企業品質賞大賞」「優良申告法人表敬」「ベストカンパニー賞」など、身に余る評価をいただきました。

「未来を信じ未来に生きる」。これは私の座右の銘です。創業90周年記念事業の一環として、全社員の心の拠りどころとなる社歌『モリスの丘』も完成しました。「丘」は私たちのビジネスプラットフォーム。「命の花を咲かせてゆこう」「夢を叶えようモリスの丘で」♪。リズムカルな歌を奏でながら、全社員が心をひとつにして元気に明るく輝く未来へ！ 創業100周年に向かって逞しく前進してまいります。今後とも、温かいご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。創業90周年記念誌発刊のご挨拶といたします。



衆議院議員
自民党政務調査会長
渡海 紀三朗

PROFILE —————
1948年生まれ、早稲田大学卒。文部科学大臣、国家基本政策委員長などを歴任、2023年より現職。“信なくば立たず”、“未来への責任”を政治信条に、科学技術立国の実現をライフワークとする。

「祝辞」

モリスホールディングス株式会社を中核とする“モリスグループ”が創業90周年を迎えられ、その輝かしい足跡を綴る記念誌が発刊されますことを心からお祝い申し上げます。

1934年、創業者森本幸治様が米田の地において、文字どおり裸一貫で材木店を興されてから90年。この間、我が国の経済社会は、戦災復興から高度経済成長、バブル崩壊と長期デフレを経て、今日の人口減少の成熟社会へと、複雑かつ多難な道のりを歩んでまいりました。この長い歩みを通じて、私たちの社会が常に求めてきた大きな目標は「健康で豊かな生活の実現」ではなかったでしょうか。

モリスグループは、まさにこのテーマに的確に応えるかのように、次々と時代の潮流を先取りしたビジネスを展開されてきました。二代目克己様の木材販売から住宅建築への転換、三代目幸吉様のホームセンター、レンタル・飲食店の展開、更には健康・教育を中心とするサービス産業分野への進出。消費者ニーズの変化をいち早く捉え、変化をいとわず果敢に業態を進化させる姿は、社会貢献と経済的利益の追求を両立させた企業家の鑑といえるでしょう。

このように、幾多の経営革新を断行し、今日のご隆盛を迎えられましたのは、創業時の「常に新しい感覚を持って、奉仕を昂扬すべし」という社是の力であり、これを引き継がれた「人々の幸せのため、時代が求めるサービスを展開し、豊かな社会づくりに貢献する」という経営理念が社員の皆様に浸透している証です。

今後とも、森本幸吉CEOのリーダーシップのもと、モリスグループが「豊かなコミュニティづくり」を目指し、社員一丸となって更なる飛躍を続けられることを心から期待いたしまして、お祝いの言葉といたします。



兵庫県知事
齋藤 元彦

PROFILE —————
神戸市出身、東京大学経済学部卒。2002年総務省に入省、新潟県佐渡市、福島県飯舘村、宮城県などで地方自治や震災復興に携わり、大阪府財政課長を経て、2021年8月から現職。

「地域の持続的発展に向けて」

モリスグループ創業90周年を心からお慶びいたします。

高砂米田の地で創業されて以来、住宅建築からコミュニティ事業まで大胆にフィールドを拡大し、地域経済に貢献してこられました。90年の歩みに、深く敬意を表します。昭和から平成、令和へ。時代と共に、兵庫の社会経済も幾多の変化を経験してきました。とりわけ、新型コロナウイルス感染症の拡大は、サプライチェーンやインバウンドに多大な影響を及ぼしました。コロナ禍を乗り越えた今なお、国際情勢の混迷や物価高騰が地域経済に影を落としています。私たちは足を止めることなく、果敢な挑戦により未来を拓いていかなければなりません。

2025年には阪神・淡路大震災から30年を迎え、大阪・関西万博が開幕するなど、兵庫にとって重要な節目が訪れます。今こそ、先人から受け継がれてきた“経験”と“教訓”を次世代につなぐとともに、地域ならではの“価値”を高め、国内外に発信していく必要があります。

大切なのはSDGsの視点です。環境との共生、健康と福祉、ジェンダー平等などへの積極的なアクションが、地域や企業の価値向上に欠かせません。県としても、企業のSDGsや女性活躍推進への支援をはじめ、播磨臨海地域における脱炭素の拠点づくりなどに取り組んでいるところ です。

こうした中、皆様が“豊かなコミュニティづくり”を目指し、商業施設の運営や太陽光発電事業、ウエルネス事業などに取り組んでおられることは心強いことです。グローバル人材の必要性が高まる中、バイリンガル教育に注力されていることにも大きな期待を寄せています。

これからも、モリスグループが地域と共に歩み、更なる飛躍を遂げられることを願ってやみません。ともに、持続的に発展する兵庫をつくりあげてまいりましょう。



高砂市長
都倉 達殊

PROFILE —————
1989年4月株式会社トクラ入社。2003年6月代表取締役社長に就任。2020年4月高砂市長に就任し現職。

「創業100周年への挑戦」

モリスグループ創業90周年を心からお祝い申し上げます。

1934年に初代森本幸治氏が高砂の地で材木商を立ち上げられて以来、戦前・戦後の激動の時代から、高度経済成長期、バブル崩壊後の経済低迷時代、そしてグローバル化やITの急速な進化、地球温暖化問題など多様な時代へと変遷していく中で、初代、先代、森本会長と三代が常に時流を読み取り、先を見据えて、住宅事業、サービス産業へ展開するなど、様々な業態に進化させ、現在のモリスグループへ経営基盤を確立されました。

会長との出会いは、高砂商工会議所の議員として活動し始めた頃に遡ります。その後、共に副会頭として、そして会長が2016年11月に会頭就任以降を含め、6年間、本市の商工業発展のため、一緒に活動させて頂きました。

会長が1986年に社長に就任されてからの38年間には、幾多の試練があったことと推察いたします。しかし、経営者としての人格と能力でもって乗り越えられ、今日のご隆盛を迎えられたことは尊敬の念に堪えません。また、常に未来に向かって、果敢に挑戦される姿と行動力に敬服する次第です。

80周年を迎えられた際に、市川社長が「私たちの未来」をテーマとされておられましたが、まさに、これからの10年間は「新天地に挑もう」という強い意志を持ち、輝かしい100周年へ向けて、更に成長されることを期待しております。

高砂市も2024年7月に市制70周年を迎えます。まちの魅力を更に高め「住みたいまち 高砂」に向けて、引き続き、取り組んでまいります。結びに、モリスグループの発展と森本会長をはじめ、社員の皆様のご健勝にてのご活躍をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



高砂商工会議所
会頭
福島 孝一

PROFILE —————
1956年生まれ、1978年ゼネコンである現株式会社ソネック入社。代表取締役社長を経て、2022年より取締役会長。商工会議所では常議員、2019年副会頭に就任後、2022年11月より現職。

「創業90周年に寄せて」

モリスグループ創業90周年おめでとうございます。森本幸吉会長とは、モリス花田店建設の際に初めて出会ってから、約25年来のお付き合いをさせていただいております。その頃はホームセンターの他にもドラッグストアやインターネットサービスをはじめ、大手外食産業やレンタルショップの誘致など、多角的に経営を展開していた時期で、精力的にモリスグループを拡大していたことが鮮明に記憶に残っております。一見物腰は柔らかく穏やかな印象のお人柄ですが、ビジネスに掛ける情熱は並々ならぬものがあり、決して妥協を許さない芯の強さをお持ちの方だという印象でした。

2010年には高砂商工会議所の副会頭に就任され、空き家空き店舗活用事業や謡曲高砂普及事業、地域特産品のひとつである「あなご」の販路拡大事業など、次々と斬新なアイデアを打ち出し、当時渡辺会頭からもその活躍を聞き及んでおりました。

会頭に就任されてからも部会再編や産学連携の推進といった、未来を見据えた取り組みに加え、大型商業施設の経営改善や旧福利厚生施設の整備と、商工会議所が長年抱えてきた深刻な課題の解決にも尽力されました。

私が副会頭に推されて、共に取り組んだ事業の中でも印象に残っているのが、都市力創造と未来創造の二つの特別委員会活動です。現在はその嚆を受け微力ながら会頭としてその活動に携わっておりますが、会議所運営に関わる事業はなかなかハードな課題が多く、その分やりがいもあり、皆で協力しあいながら楽しく取り組んでいます。今後とも引き続きサポートの程よろしく願いいたします。

結びにモリスグループ創業100周年に向けて、地域の発展、社員の皆様の幸せを求め益々発展していかれることを心よりご祈念申し上げます。



株式会社カーブス
ホールディングス
代表取締役社長
株式会社カーブスジャパン
代表取締役会長
増本 岳

PROFILE —————
1964年神奈川県生まれ。2005年カーブスジャパン創業、以来、正しい運動習慣を広めることに邁進している。



株式会社ミマモルメ
代表取締役社長
阪神電気鉄道株式会社
情報・通信統括部長
小坂 光彦

PROFILE —————
1994年阪神電気鉄道株式会社入社。見守り事業「ミマモルメ」、教育事業「プログラボ」を事業化し、株式会社ミマモルメとして分社化。安心に暮らし、世界に影響を与える人材を育てる環境の構築を目指す。

「お祝いのことば」

90周年おめでとうございます。
長きにわたり事業を継続発展され地域に貢献されてこられたことに、深い敬意をもって心よりお祝いを申し上げます。
モリスグループさんは、2007年に『女性だけの30分フィットネス カーブス』のフランチャイズに加盟いただき、以来、事業を拡大され、2022年には男性専用のフィットネス・メンズ・カーブスも出店、現在37店舗を展開されています。2022年にはカーブスチェーンの最優秀加盟企業に贈られる「ベストカンパニー賞」も受賞いただきました。社員の皆さんにはお客様と地域を健康にしようとの強い使命感をもって仕事をさせていただいており、強くてやさしい組織をつくられていることにいつも感銘を受けております。

今でこそ順調に事業展開いただいておりますが、チェーン創成期の事業立ち上げには大変なご苦勞をおかけしてしまいました。しかし、森本会長から「地域に役立つ事業は必ず成功する」との力強いお言葉をいただき、事業成功に必死であった私たちには本当に有難く、勇気を頂戴しました。
モリスグループさんは、創業の苦勞を共にし、業界を激震させたコロナショックも一緒に乗り越えてきた大切なパートナーです。90周年のお祝いと共に、この場をお借りして、日頃の感謝の気持ちを伝えさせていただきます。誠に有難うございます。

カーブスチェーンは1,960店舗、会員数80万人を超え、全国各地で「地域密着の健康インフラ」と言える存在となりました。一方で超高齢社会の進展によって国民の健康問題の深刻さは増しており、ますます、健康づくりと予防が重要となっています。社会の問題の解決に向けて、今後も一緒に前に進んでまいりましょう。

「世界に通じる人材を育てましょう」

創業90周年、心よりお祝い申し上げます。歴史的な瞬間に「子ども向けロボットプログラミング教室プログラボ」を展開する仲間として立ち会えることに深い感動を覚えております。
90年にわたり歩んできた旅路は、単なる数字や年月では計り知れないものかと思います。地域社会との結びつきを重んじられ、信頼される存在であるために、貢献されてきた姿勢こそが、成功の秘訣であると確信しております。
森本会長は「従業員の生活を守ることを大切にビジネスの変革・事業創出に取り組む」という方針のもと、経営手腕を振るっていると伺いました。社員一人ひとりを重要視するからこそ、サービスの質が高まり、お客様の満足につながっているのではないのでしょうか。
モリスグループ様には、プログラボ宝殿校を2021年に、西神中央校を2022年に開校いただき、現在100名を超える子どもたちへ教育を届けていただいております。
私どもは、「明日も来年も10年後も、継続して学びを提供し続ける存在であること」を大切にしています。まさにモリスグループ様が体現しているあり方であり、「夢を実現するチカラを育み、次世代の社会をより豊かにする」という価値観を共有し、共に歩む仲間として強い結びつきを持てたことを光栄に思います。

プログラボでは、端末上のプログラミングだけではなく、モノづくりを融合させることで、子どもたちの新しい発見を創造しています。時には「手間がかかり、無駄に見えること」が子どもの成長に大きく貢献する瞬間があります。そんな瞬間を大事にし、温かさを持った教育を推し進めていただけると確信しております。
90周年のその先も、輝かしい未来が待っていることを心よりお祈り申し上げます。



佐伯 武彦

PROFILE —————
1937年兵庫県加西市生まれ。川崎重工業株式会社、代表取締役副社長。北条鉄道株式会社副社長、加西市副市長、高砂市役所顧問(政策アドバイザー)。

「創業90周年を祝して」

モリスグループが90周年を迎えられましたこと、大変おめでとうございます。90年間、世の中の変化に順応させながら事業内容を変更し、会社を繁栄させ続けられたことは、母上や奥様の陰ながらの支援があったとはいえ、大変なことだったと思います。心から敬服いたします。
今回、私が90周年のお祝いを申し上げる機会を得ましたのも、会長ご夫妻が共に加古川ゴルフ倶楽部のメンバーで、2021年の正月明け頃だったでしょうか、倶楽部の月例コンペで、お二人と偶然一緒することになり、自己紹介をしながら一日楽しくプレーしたのがきっかけです。私は、16年間のアメリカ勤務を含め47年間の川崎重工業での会社勤めを退職後、78歳からの加西市の副市長や、ボランティアで携わっていた北条鉄道再建の10年間の仕事がほぼ完了し一段落したところでした。
中でも加西市副市長時代の「ふるさと納税」の急増、加西インター周辺の、農地の工業団地化にどんなテクニックを使ってものにしたのか、興味を持たれたようでした。森本さんは当時高砂商工会議所会頭の立場から、その日のうちに私を評価し、数日のうちに私を関係者に紹介し、面接試験をして、高砂市に役立たせようと、手続きを踏まれたようでした。その手際良さは、見事なもので、自分の会社の経営改革を行われた経験からでしょう。自社の時代に即応した事業対応、商工会議所の舵取り、そして後継者の育成、継承いずれも見事なものです。
お出会いしたきっかけのゴルフは、ご本人はもとよりご子息まで、ご家族全員の趣味のようです。90歳を迎えても、元気にゴルフプレーされている母上のように、事業の方も100周年に向かって頑張ってください。



株式会社
ディーファ代表取締役
公認会計士・税理士
西川 哲也

PROFILE —————
1993年あずさ監査法人に入社。同社在籍中の2001年からモリスグループを担当。2007年株式会社ディーファを設立。現在に至る。未来志向でオーナー中小企業の健全な成長発展を支援。

「90年の伝統をつくるもの」

創業90周年を迎えられるにあたり、心よりお祝いお慶び申し上げます。
モリスグループさんにご縁をいただいたのは2001年のことで、ドラッグストア事業の開始から5年ほど経過した頃です。その後、既存事業の競争の中での出店・拡大を続けつつ、介護事業や現在のウエルネス事業など、新たな事業展開の可能性を探索し続けてこられました。
新規事業への挑戦は、ヒト・モノ・カネのあらゆる面で、既存事業での投資とは比べものにならないくらい、負担の重いものでした。業績的にもたいへん苦戦された時期もありました。
しかし、今日こうしてグループの各事業において地歩を固めることができてるのは、ひとえに役職員の皆様のたゆまぬ努力の積み重ねによるものであり、深く敬意を表します。
外見的にはこの20年あまりの間に、大きく変化・変貌を遂げられたモリスグループではあります。実は一貫した思いが、いまま変わらず底流にあるように思います。
豊かなコミュニティづくり、価値の共創。これらの言葉は、私がお縁をいただく以前から掲げられているメッセージではないかと思います。
モノからコトへ、などとも言われますが、更に、モノやコトの先にある価値を、地域やお客様と共に創ることに挑戦され続けた日々の積み重ねであったことと思います。
伝統と革新、ということも印象的な言葉です。革新への挑戦の連続が、90年の年月を経て今日のモリスグループの伝統をつくっているのでしょう。たくましさやさしさで、いい会社を共につくっていかれることを期待しています。
きたるべき創業100周年をどのように迎えておられることになるのか、これからのグループのますますのご発展を祈念しております。

感謝の90年 そして豊かなコミュニティづくり これからも……………02

祝 辞……………04

沿革史

年表 モリスの歩み(1934～2014)……………10

モリスゴールドスタンダード……………13

近10年史……………14

2014 Challenge the Frontiers……………14

2015 感動共創経営で新天地に挑もう……………15

「いい会社をつくりましょう」

2016 楽しい会話・豊かなコミュニティ……………16

2017 あなたが主役 I P S……………17

2018 チャレンジ☆ W I L L S……………18

2019 Enhance Work Engagement……………19

2020 Let's Work on SDGs……………20

森本克己相談役 追悼……………21

2021 ニューノーマル・変化を創造……………22

2022 ウェルビーイング・新価値共創……………23

2023 スマートライフ・変化を共創……………24

2024 スタートアップ・未来を共創……………25

特別企画

90周年、その先へ……………26

MORIS 豊かなコミュニティづくり-今と未来をつなぐ-……………28

モリスの仲間たち……………32

森本家 五世代 絆をつなぐ……………36

90周年記念「コーポレートソング」……………38

凡 例

- ・本書の記述は、2024(令和6)年6月までとした。
- ・用字用語は、原則として常用漢字、現代仮名遣いに拠ったが、慣用句・固有名詞・専門用語などはこれに拠らないものもある。
- ・会社名、団体名、役職名は当時の名称を用いた。
- ・人名、会社名、団体名の敬称は省略した。

沿革史

HISTORY

年表 モリスの歩み(1934～2014)

当社の出来事(1934～1994)				当社の出来事(1995～2008)			
1934	7月	●森本幸治、米田町平津にて材木店を創業		1995	3月 7月	●ホームテリア神戸支店を開設(震災復興住宅) ●ドラッグストア事業を開始	
1937	4月	●米田町島に店舗移転	創業者	1997	1月 4月 9月	●ウィンウィンインターネット株式会社設立 ●インターネットサービスプロバイダー事業開始 ●森本克己会長高砂商工会議所会頭(再任) ●モリス株式会社を株式会社モリモトに合併統合 ●モリス株式会社に社名変更(株式会社モリモトより) ●高砂緑丘ショッピングセンターOPEN	
1951	3月	●株式会社森本材木店を設立		1998	5月	●メディアコム有限会社設立 ●キャンドウ事業に参入	
1963	1月 5月	●建材部を設置、住まいの総合的な業務を開始 ●住宅部を設置		1999	3月	●姫路花田ショッピングセンターOPEN	
1966	4月	●株式会社森本住宅センターを設立		2000	8月	●インターネット通販を開始	
1970	10月	●マイホームセンターモリモトをOPEN	木材の買い入れ	2001	2月	●プロバイダー事業をインフォテック株式会社に事業譲渡	
1971	3月	●株式会社大洋を設立		2002	3月	●メディカ株式会社、ウィンウィンインターネット株式会社、メディアコム有限会社をモリス株式会社に合併統合	
1975	1月	●第二代社長に森本克己が就任	建売住宅	2003	7月 11月	●相談役森本幸治逝去(17日、享年100歳) ●調剤薬局事業を開始	
1976	5月	●保険代理業を開始		2004	3月	●カンパニー制導入	
1982	10月	●モデル住宅展示場OPEN	二代目	2005	3月 9月 10月	●メディカ米田店をTSUTAYAに事業譲渡 ●モンド有限会社の営業権を譲渡 ●アイモール高砂ショッピングセンターOPEN	
1984	10月	●株式会社モリモトに社名変更(株式会社森本材木店より)		2007	2月 8月 9月 10月 11月	●ラ・パステルアスパ高砂店OPEN(ラ・パステル1号店) ●カーブスモリス朝霧OPEN(カーブス1号店) ●カーブスモリス貴崎OPEN ●カーブス網干OPEN ●カーブス加古川別府OPEN ●カーブス姫路青山OPEN	
1986	12月	●株式会社大洋の社長に森本幸吉が就任 ●ホームセンター事業を開始	新社屋	2008	5月 7月 12月	●メディカアスパ店書籍部門を株式会社未来屋書店に営業譲渡 ●ラ・パステル別府店OPEN ●モリスリテール株式会社を設立 ●モリススタイル株式会社に社名変更(株式会社大洋より)	
1988	12月	●レンタルビデオショップ事業を開始					
1991	10月	●モリス株式会社に社名変更(株式会社大洋より)	創業50周年				
1992	9月	●ホームテリア株式会社に社名変更(株式会社森本住宅センターより)					
1993	6月 10月 11月 12月	●モンド有限会社設立 ●モスバーガー事業に参入 ●森本克己相談役黄綬褒章受章 ●メディカ(本・レンタル・ゲームソフト複合業態)を開始	ホームセンター				
1994	4月 7月 12月	●森本克己会長高砂商工会議所会頭に就任 ●パレットプラザ事業に参入 ●サーティワンアイスクリーム事業に参入					
			モリスショッピングセンター計画図				カーブス朝霧(1号店)

年表 モリスの歩み(1934～2014)

当社の出来事(2009～2014)

2009	2月	●株式会社マツモトキヨシと業務提携	
		●CHC(中国エリア・ホームセンター・コンビネーション)加盟	
	3月	●モリス株式会社を会社分割(分社経営)	
		●モリスリテール株式会社・モリススタイル株式会社が事業承継	
		●カープスジャスコ土山を事業譲受	
	4月	●ラ・パステルイオン加西北条店OPEN	
	6月	●カープスイオンモール加西北条OPEN	
2010	11月	●カープスジャスコ三木OPEN	
	12月	●太陽光発電システム販売事業に参入	
	2月	●カープス西明石移転OPEN	
	6月	●カープス東加古川OPEN	
2011	10月	●リハビリデイサービスnagomi事業に参入	
		●モンド有限会社全株式を譲渡	
	12月	●カープス明石大久保OPEN	
2012	7月	●カープスコープ高砂OPEN	
	10月	●カープスコープ姫路田寺OPEN	
	11月	●カープスサザンモールを営業譲受	
		●カープスセリオ西神南OPEN	
2013	2月	●カープスイオン洲本OPEN	
	3月	●グループ内事業再編	
		●モリスホーム株式会社に社名変更(モリススタイル株式会社より)	
	9月	●モリスリテール全株式を株式会社マツモトキヨシホールディングスへ譲渡	
2014	10月	●モリススタイル株式会社に社名変更(ホームテリア株式会社より)	
	1月	●太陽光発電事業電力供給を開始	
	2月	●モリスホーム全株式を株式会社いないへ譲渡	
	12月	●カープス神戸ジェームス山OPEN	
2014	3月	●モリス香港を設立	
	8月	●さくらインターナショナルスクールのスポンサー契約を締結	
	9月	●カープスリファール横尾OPEN	
	11月	●メディカ青山店をフランチャイズ本部(株式会社キャンドウ)に返還	
	12月	●創業80周年「感謝の集い」開催	
		●キャンドウアイモール高砂店、アスパ高砂店をフランチャイズ本部に返還	

モリスゴールドスタンダード

創業80年を迎えた2014年、モリスグループの業態は、ホームセンター・ドラッグストアが核事業の小売り流通業から、ブルーオーシャン戦略を指針とした新たな事業への大転換の完了と共に、ロゴを刷新し、新しい経営指針として「モリスゴールドスタンダード」を制定しました。

経営理念

モリスは、人々の毎日が健康で希望に満ちた幸せなものであるために、時代が求めるサービス・プラットフォームを展開し、人とひととの結びつきを通して、信頼、誠実、感動を育み、豊かな社会づくりに貢献する。

モリス・クレド

私たちは、お客様へのおもてなしとお客様との価値共創をもっとも大切な使命と心得ています。心のこもったサービス・洗練された商品により、お客様一人ひとりに満ち足りた幸福感をご経験いただけます。

社員への約束

モリスでは、社員一人ひとりがリーダーです。お客様に満足と感動を与えるリーダーこそ、モリス発展の源です。革新、挑戦、成長を原則とし、社員の持てる才能を育成し、最大限に伸ばします。多様性を尊重し、充実した生活を深め、働く喜びを共感する。モリスはそのような職場環境を育みます。

MORIS

More Opportunities for Relationship Innovation and Sustainability

人々の絆 たゆまぬ革新 そして持続可能性を追求する 共創の場づくり

2014 Challenge the Frontiers

主な出来事

- 3月 モリス香港設立
- 8月 さくらインターナショナルスクール
スポンサー契約締結
- 9月 カーブスリファール横尾OPEN
- 12月 創業80周年「感謝の集い」開催
- 12月 キャンドゥ事業をフランチャイズ本部に返還



創業80周年「感謝の集い」



「感謝の集い」での幹部記念写真



カーブスコンベンション



井戸知事(当時)の直筆メッセージ

創業80周年という記念の年。記念ビデオの製作、記念誌の発刊、そして12月3日には「感謝の集い」を開催しました。教育分野では関西国際学園と東京での開校を前提としたスポンサー契約を提携し、カーブスとnagomiは合計24店舗体制へ成長しました。メンバー様とご利用者様は8,000名にまで拡大。一方、選択と集中への舵取りでは、キャンドゥ店舗はフランチャイズ本部へ返還しました。

80周年の記念事業として策定したモリス・クレドを旗印に「感動共創経営」へと転換していきました。「豊かなコミュニティづくり」に邁進していく未来設計図を共有し、90周年に向けた布石が打てた2014年でした。

2015 感動共創経営で新天地に挑もう

主な出来事

- 4月 アイモール株式会社設立
- 5月 さくらインターナショナルスクール
千代田校開校
- 5月 森本CEO兵庫県功労者表彰受彰
- 5月 神戸本部開設
- 7月 カーブス西神中央OPEN
- 9月 カーブス神戸舞子OPEN
- 9月 稲盛経営者賞受賞 非製造第3グループ 第1位受賞

感動共創経営で新天地に挑もう—Education・Hospitality・Globalization—を経営スローガンに掲げ、健康、教育、コミュニティの分野で事業展開を進めました。

カーブスは新たに2店舗を出店して19店舗となり、5月には、さくらインターナショナルスクール千代田校を開校しました。今後の事業展開を見据え、神戸旧居留地に神戸本部を開設し、カーブス事業の発展に対応する採用活動を始めました。

そして、nagomi事業は変化対応の流れの中でフランチャイズ本部に返還を決定し、アイモール高砂ショッピングセンターは、開業10周年を迎えました。

特筆すべきは長年の積み重ねが稲盛経営者賞受賞という名誉につながったことです。



神戸本部(神戸市中央区明石町)



千代田校授業風景



カーブス西神中央



当社と森本CEOが稲盛経営者賞を受賞

Message

お祝いのことば 80周年祝賀会にて

兵庫県知事
(2014年当時)
井戸 敏三



のですが、男性は食いつきは速いけど(笑)逃げちゃう、長続きしない。それで女性だけなのかと思った訳です。これから重要なのは健康をどう確保していくかですので、女性だけではなく、高齢男女の体操など始めていただくと、高砂市の国民健康保険財政に大いに寄与すると思います。傘寿を迎えられ、次は卒寿、白寿、100歳というような形で積み重ねていかれますよう、お祝いの歌をひとつつくりました。

現代の 問題理解し スクラムを
組んで時代を先取るモリス

90、100、更に100年を超えて200年を目指し、消費者ニーズに応えた活動を続けられることを心から祈念し、お祝いの言葉にさせていただきます。おめでとうございます。

モリスグループ80周年に、どうしてもご挨拶だけでも、と参上しました。昭和9年に材木商として創業、事業を時代に合わせて展開され、今日を迎えられています。それにしても、材木屋さんからスーパーの経営コンサルタントのような仕事から、37万kWの太陽光発電までされている。しかも、女性だけの健康体操も。なぜ女性だけなのか(笑)、女性はきっと、健康体操やヨガに非常に興味を持って続けられる

Message

稲盛経営者賞 ご受賞

株式会社大窪鐵工所
代表取締役社長
元盛和塾「播磨」代表世話人
大窪 唯之



私は森本幸吉会長と盛和塾「播磨」で一緒にできた幸福に心から感謝しています。盛和塾とは故稲盛和夫氏が主宰する経営塾で、稲盛塾長は京セラ、KDDIなどを経営する多忙なお立場ながら若手経営者の育成のため、多大な時間と労力を注ぎ込んでくださいました。「心を高める、経営を伸ばす」「全従業員が物心両面において幸福になること」とのスローガンに魂を込め「経営者はいかにあるべき

か、いかに生きるべきか」を繰り返し教えてくださいました。稲盛経営哲学を実践し、業績を伸ばした塾生には盛和塾世界大会で稲盛経営者賞を授与され、森本会長は2015年9月第23回世界大会にて見事この賞を受賞されました。収容人数5,000名のパシフィコ横浜が満席になる中での授賞式は盛大なものでした。2019年10月には経営者賞受賞に加え、盛和塾岡山塾長例会で経営体験を発表するという栄誉にも輝かれました。

森本会長は、社業に打ち込むのみならず、地域社会をより良くしたいという利他の心で高砂商工会議所会頭にも就任されました。今、森本幸吉会長の功績を振り返る時、稲盛経営哲学が脈々と生き続けていることを実感します。

モリスグループ様の今後ますますのご発展とご繁栄をお祈り申し上げます。

2016

いい会社をつくりましょう
楽しい会話・豊かなコミュニティ

主な出来事

- 2月 nagomi事業を本部に返還
- 2月 アメーバ経営導入
- 6月 全国企業品質賞「優良賞」受賞
- 7月 モリススタイル社員研修旅行開始
- 11月 森本幸吉CEO、高砂商工会議所会頭就任
- 12月 カーブスアスパ明石OPEN



アメーバ経営導入プロジェクト



カーブスアスパ明石



会頭就任



2015年度全国企業品質賞表彰式・記念講演会

「いい会社をつくりましょうー楽しい会話・豊かなコミュニティー」を経営スローガンに掲げ、企業品質の向上に取り組みました。

全員参加経営を目指して、京セラコミュニケーションシステム様の指導を受け、アメーバ経営を導入。時間当たり採算制を活用して生産性の向上に努めました。

この年、規模も拡大したウエルネス事業部カーブスではエリアマネジャー制も稼働、初めて全国企業品質賞にエントリーし「優良賞」を受賞しました。

生活雑貨店ラ・パステルでは、お客様の声を大切にした商品展開をし、数値目標を達成しました。この流れはスローガンに端を発し、お客様や社員間で会話もはずみ、視察研修旅行も実現しました。

Message

高砂商工会議所での ご活躍

中野プランツ株式会社
代表取締役社長
高砂商工会議所副会頭
廣野ゴルフクラブ理事

中野 哲郎



豊かな企画力や行動力という言葉では形容しがたい、森本会長の斬新な発想には何度も驚かされました。

現都倉市長と共に2010年に副会頭に就任し、当時の渡辺会頭の懐刀として実績を積み、2016年に会頭に就任されると、会員や会議所職員、地域経済のために寝食を忘れるかのような行動力で、高砂経済をけん引されました。

この考え方は盛和塾で醸成されたことは疑う余地がな

く、高砂の町起こしの一環で、当時誰もが消極的だった謡曲「高砂」の普及にも取り組まれました。今では会議所では会議の開始と終了時に全員で謡い、市議会でも定例議会初日には「高砂」が流されます。森本会長の課題解決力には頭が下がります。

近畿商工連の会議でも謡曲「高砂」を謡いました。当時日商の副会頭であったオムロンの故立石会長が「私は観世流だが君たちは?」と問われ、全員で大笑いしました。

また、封印されていたゴルフを再開され、会員間のもとよりロータリークラブや行政の方々との交流にも役立て、高砂商工会議所ここにありと印象づけていただきました。

これからも会社と高砂商工会議所の発展にもお力添えをお願いして創業90周年のお祝いの文章とさせていただきます。おめでとうございます。

2017

いい会社をつくりましょう
あなたが主役 I P S

主な出来事

- 1月 モリススマイル株式会社設立
- 2月 第7回高砂浜風駅伝大会参加
- 3月 カーブスイトーヨーカドー明石OPEN
- 7月 全国企業品質賞「優秀賞」受賞
- 9月 カーブス須磨名谷OPEN、カーブスイオン小野OPEN
- 11月 カーブスゆめタウン姫路OPEN



第7回高砂浜風駅伝大会

「いい会社をつくりましょうーあなたが主役IPSー」を経営スローガンに掲げ、モリススマイル株式会社の設立をはじめ、様々な経営革新に挑みました。地域盛り上げの一翼を担うべく、女性チーム編成で高砂浜風駅伝に初参加しました。IPSとはIntelligence、Play、Smileの頭文字を指し、情報革命時代に必須となる資質のことです。

昨年に続いて全国企業品質にはグループとして挑戦し、「優秀賞」を受賞しました。カーブスは4店舗を出店し合計25店舗、会員数は10,000名を突破。健康経営も宣言し、社内コミュニケーションの増進を図るグループウェアの運用開始、モリススタイル社員研修旅行、本社ビルリニューアル、アイモールSouthの開発など、様々なイノベーションに取り組み成果を残せた1年でした。



カーブスイトーヨーカドー明石



カーブス須磨名谷



2016年度全国企業品質賞表彰式



カーブスイオン小野

Column

モリススマイル株式会社 設立・浜風駅伝出場

モリススマイル株式会社
ウエルネスdiv.
統括マネジャー

中島 麻代



2017年1月23日モリススマイル株式会社が設立されました。それはレディースカーブスが24店舗目をオープンした年になります。ひとりでも多くの女性の方に健康になっていただき、豊かな人生を歩んでいただきたいという強い思い。その一心で店舗展開をしていく中で、規模も全国トップ3へと躍進し、確かな自立を果たした年と言えます。今ではレディースカーブスは36店舗を展開し、14,000名を超えるメ

ンバー様にご利用いただいています。モリススマイルのパーパスである『正しい運動習慣を広めることを通じて、お客様と私たち自身の豊かな人生と、社会の問題の解決を実現します。』を胸に、カーブス事業20周年に当たる2027年に50店舗展開を目指してこれからもチャレンジを続けていきます。

そして2017年2月12日、新たな取り組みとして、高砂商工会議所が主催する「高砂浜風駅伝大会」にモリスグループとして、初めてエントリーすることになりました。これは健康経営と地域を盛り上げる一環としての取り組みであり、初参加の第7回大会から現在までエントリーは続いています。有志を募って集まったランナーと応援団の全員が一致団結し、大会を盛り上げています。

これからもこのような取り組みを通して社会貢献を果たしていき、いい会社づくりに邁進していきたいと思っています。

2018

いい会社をつくりましょう
チャレンジ☆ W I L L S

主な出来事

- 1月 アイモールSouthオープン
- 2月 モリススマイル海外研修旅行開始
- 4月 カーブスMEGAドン・キホーテ姫路広畑OPEN
- 7月 全国企業品質賞「最優秀賞」受賞
- 7月 スマイルセミナー開始
- 7月 カーブスコープデイズ神戸西OPEN
- 9月 カーブスイオンジェームス山移転OPEN
- 10月 カーブスイオン姫路OPEN

Wellness、Innovation、Lifestyle change、Learning、Smileの頭文字をつなぎ「いい会社をつくりましょう—チャレンジ☆WILLS—」を経営スローガンに掲げ、企業品質のレベルアップに取り組んだ結果、全国企業品質賞は「最優秀賞」を獲得しました。カーブスは27店舗体制となり、さくらインターナショナルスクール千代田校に通う児童は100名を超えました。ウエルネス事業部では、ハワイ研修旅行を開始し、オプションは参加者それぞれが計画し、有意義な時間を過ごしました。また、女性活躍をテーマに第1回スマイルセミナーも開催しました。ただ、各社共に掲げた目標達成には苦戦し、課題も残りました。



スマイルセミナー



ハワイ研修旅行

カーブスMEGAドン・キホーテ
姫路広畑2018年度全国企業品質賞
表彰式・記念講演会

2019

いい会社をつくりましょう
Enhance Work Engagement

主な出来事

- 2月 健康経営優良法人認定
- 5月 森本克己相談役「旭日小綬章」受章
- 5月 全国企業品質賞「最優秀特別賞」受賞
- 6月 カーブスイオン高砂OPEN
- 6月 カーブスカすがプラザOPEN
- 10月 カーブスヤマダストア朝霧移転OPEN
- 11月 森本幸吉CEO高砂商工会議所会頭再任
- 12月 カーブスイオン社OPEN

「いい会社をつくりましょう—Enhance Work Engagement—」を経営スローガンに掲げ、時代は平成から令和へと移り、新しい時代を力強く歩み出しました。なお、Enhance Work Engagementは「仕事へのエンゲージメントを高めよう」を英語化したものです。

2月には、経済産業省と日本健康会議から健康経営優良法人の認定を受けました。スマイルセミナーも、SDGsの理解を深める機会として定着しました。太陽光発電、予防医療機関カーブス、バイリンガル幼児教育の展開、そしていい会社づくり、商工会議所会頭企業としての地域社会への貢献など、企業体としての取り組みが進みました。グループ二代目森本克己相談役は、旭日小綬章の叙勲を受章し、夫妻で皇居にて天皇皇后両陛下の拝謁を受けました。



旭日小綬章受章



カーブスイオン社



カーブスカすがプラザ

カーブスヤマダストア
朝霧

Column

Big Smiles
ハワイ研修旅行モリススマイル株式会社
ウエルネスdiv.
マネジャー

佐野 友有子



2017年8月の社内報に「自分の世界を広げよう」という会長メッセージがあります。「世界に五大陸、本当に広大でしかも素晴らしく多様。小売業の時代は、アメリカ西海岸を視察した。そこには10年先の日本の生活様式を予見する学習の場があった。15年間延べ200名以上の社員が感動と共に帰国した。カーブスもラ・パステルも開設して10周年。『社員旅行を通して自分の世界を広げよう』。新しい挑

戦への積極的な参画を期待する」と、と。

そして2018年、海外研修が始まりました。ハワイはリピーターが多いことでも有名ですが、理由として挙げられるのは、古き良き文化を大切にしつつ、新しいものも柔軟に取り入れ、観光客を楽しませるサービス力があることです。これは私たちのメンバー様が「何度も通いたくなるクラブづくり」に通ずるところがあります。研修メニューにはダイヤモンドヘッドへの登頂があり、夜明け前から全員で山頂を目指しました。頂上から望むワイキキの日の出はとても美しく、共に目的を達成する喜びを感じることができました。

多くの学びがありました。日本を離れ、非日常的な時間を過ごしてリフレッシュし、仲間たちと食を共にし、ハワイでしかできないアクティビティも経験できました。思い出深い「自分の世界を広げる」貴重な体験となり、今も続いています。

Message

森本克己相談役との
思い出高砂商工会議所
事務局長

天野 勝人



森本克己相談役と初めてお会いしたのは、高砂商工会議所へ入所した1990年、今から34年前です。当時は副会頭で「頑張ってるかあ!」と声を掛けていただき、大変嬉しかったことを覚えています。会頭ご就任後もお人柄は変わらず、職員旅行やゴルフの話題で盛り上がり、笑顔で親しく接していただいたことが、昨日のこのように思い出されます。

さて相談役の「叙勲」は、先輩の池野正人さんが事務局

長最後の仕事として準備されていて、私が事業を引き継ぎました。特に印象に残っている功績は「アスパ高砂」のオープン。当時市の中心部から北部にかけては大型商業施設がなく、市全体の買回り品の50%以上が市外へ流出していた状況を食い止めるため、中心部の緑丘地区にジャスコ株式会社（現在のイオン株式会社）を核テナントとする商業施設「アスパ高砂」創設に尽力されました。バブル崩壊後の「失われた10年」と重なっていたにもかかわらず、高砂市の商業販売実績はこれを機にしばらく順調に推移し、その後も地域経済全体にもいい影響をもたらしました。「叙勲」受章の申請に携わらせていただいたのも、何かのご縁。ほんの少しですが恩返しのできたことを大変嬉しく思います。

仕事で仕え、遊楽にもご一緒させていただけたことをいい思い出として、いつまでも大切にいたします。

主な出来事

- 2月 森本克己相談役逝去、社葬挙行
- 4月 新型コロナ緊急事態宣言、全店休業
- 6月 さくらインターナショナルスクール
世田谷校開校
- 9月 カーブスイオンタウン姫路OPEN
- 10月 第1回スマイル全店WEBミーティング

4月には新型コロナ緊急事態宣言を受け、モリスグループ86年の歴史の中で、初めて全店休業を経験するなど、コロナに明けコロナに暮れた1年でした。しかし、我が社は正しく恐れて前に進めた1年でもありました。

厚生労働省発の情報収集や、ハローワークでのQ&Aなどを通して、打てる手は全て打って立ち向かいました。店舗、事務所では感染予防を徹底し、この禍に直面しながらも企業品質の向上に勤めました。

組織変更、おうちでカーブス導入、ラ・パステル別府店は、拡張しての移転を決定、社員を対象とした感謝の集い開催など前進し続けました。そして秋には全店をオンラインで結ぶウェブ会議の開催も実現させました。Let's Work on SDGs とはSDGsに取り組もうという意味です。



パンデミック・全店休業



第1回スマイル全店WEBミーティング コロナショック



カーブスイオンタウン姫路

Column

パンデミックと経営
ピンチをチャンスに

モリススマイル株式会社
前取締役社長
石原 雅也



商業施設が閉鎖となり、約1か月半カーブスも全店休業することになりました。前代未聞の事態となりましたが、やるべきことは、「お客様を守る」、「社員を守る」、「経営を守る」ことです。まず、休業中の店舗で社員は営業再開後の準備にかかりました。店舗の3密回避や換気、消毒の徹底、重症化リスクが高い方への対応など、メンバー様が安心して通えるカーブスを目指しました。社員については、健康管

理やマスクの確保、ワクチンの早期接種、給与の100%支給など、健康と家庭を守りました。もちろん、休業中はメンバー様から会費をいただけませんし、退会や休会も相次ぎ、モリススマイルの経営は大きな打撃を受けました。雇用調整助成金を活用し、教育訓練も行いながらきめ細かな申請を行い、収益の確保に努めました。また、コロナ禍後を見据え、人材採用を継続しました。このような状況の中で、最前線で奮闘されているコーチの皆様の日々の積み重ねが評価され、全国企業品質賞「大賞」を受賞することができました。現在、コロナ禍もようやく落ち着き、平時に戻りつつあります。得た教訓は、危機管理の重要性を実感できたこと、Zoom会議を初めとしたDXの推進、また、メンバー様には運動を続けることの重要性を改めて感じていただいたことなど、ピンチをチャンスに変えることができました。

森本克己相談役 追悼

故 森本克己

昭和7年3月19日兵庫県神崎郡上小田村生まれ。村野工業機械科卒。

〈職歴〉

昭和26年3月 法人化した株式会社森本材木店 取締役 就任
昭和41年4月 株式会社森本住宅センター設立 代表取締役 就任
昭和46年3月 株式会社大洋設立 代表取締役 就任
昭和59年10月 株式会社森本材木店を株式会社モリモトに社名変更 代表取締役 就任
昭和62年3月 株式会社大洋 代表取締役会長 就任
平成3年9月 モリス株式会社 代表取締役会長 就任

〈公職歴〉

昭和45年1月 高砂青年会議所 理事長
昭和58年5月 加印木材協同組合 理事長
昭和58年7月 高砂市観光協会 会長
昭和60年7月 高砂ロータリークラブ 会長
平成元年4月 高砂市米田町島 町内会長
平成6年4月 高砂商工会議所 会頭

〈主な表彰・受賞・受章歴〉

昭和58年3月 日本商工会議所会頭感謝状
平成元年10月 全国木材組合連合会会長表彰
平成2年5月 兵庫県知事功労賞受賞
平成3年11月 黄綬褒章受章
令和元年5月 旭日小綬章受章

謹んで哀悼の意を表します。

故人は1994年から7年間、高砂商工会議所会頭を務め、地域産業の活性化に力を尽くされました。市や商工会議所などで作る第三セクター「高砂商業振興」の社長にも就き、1998年には大型商業施設「アスパ高砂」をオープンされました。

まちづくりにも力を注ぎ、市の観光協会会長に就任され、市民祭りでは花火大会や市民パレードなどのイベントを催し、多くの方に慕われました。

「自分のアイデアに、みんなが協力してくれた。高砂の発展に貢献出来て嬉しい」と目を細めながら、振返っておられました。(弔辞より抜粋)



社葬



叙勲 旭日小綬章



命日 2020年2月24日



視察・見学の絶えなかったマイホームセンターモリモト



思い出の秋祭



陛下拝謁へ

2021

いい会社をつくりましょう ニューノーマル・変化を創造

主な出来事

- 1月 全国企業品質賞「大賞」受賞
- 4月 森本幸吉CEO「藍綬褒章」受章
- 7月 ラ・パステルアリオ加古川店移転OPEN
- 10月 カーブス加古川別府移転OPEN
- 11月 プログラボ宝殿開校
- 11月 優良申告法人表敬



令和3年度優良申告法人表敬状贈呈式



藍綬褒章受章



プログラボ開校



全国企業品質賞表彰式・大賞受賞

本年もコロナに明けコロナに暮れた1年でした。しかし“ニューノーマル・変化を創造”を掲げ、前年に続いてコロナ禍に対峙した1年でもありました。

様々な対策が功を奏し始めました。そして7店舗の「リニューアル・オープン」、「プログラボ開校」など多くの成果を残せました。

加えて、森本幸吉会長は長年の功労が称えられ「藍綬褒章」を受章、そして、税務署からは「優良申告法人表敬」という名誉も与えられました。

パンデミック当初は、ジムでの感染が叫ばれたカーブスも、健康二次被害対策には無くてはならない機関、と評価が一変しました。厳しい社会環境の中でも、たくましく成長し、3つもの身に余る評価を受けた1年でした。

Message

優良申告法人の価値

牟田口税務理士事務所所長
大阪国税局調査部統括官
柏原税務署長
加古川税務署長を歴任
牟田口 務



創業90周年、おめでとうございます。

私は、モリスグループの顧問税理士として、このたび認定を受けられた優良申告法人制度について、お話いたします。

税務署が表敬状や表彰状を交付するのは、優良申告法人と、「税を考える週間」で学生の作文に対する授与の2つだけです。優良申告法人として表敬状を受けるには数十

年、いや100年200年と事業を営まれた企業で、幾たびかの税務調査を受け、申告是認通知が交付され、ようやく準優良申告法人に格上げされます。その後、厳しい3~4回の税務調査を通じて問題が無ければ、優良申告法人として、税務署長が表敬します。資本金1億円以上のモデル法人と個人の優良青色申告者の2種類あった仕組みも、今は法人企業の優良申告法人制度のみとなりました。私が署長をしていた頃は、加古川税務署管内に法人数が約6,000件、優良申告法人企業はわずか約30件(約0.5%)のみでした。金融機関の方から、優良申告法人の表敬を受けた企業にはいくらでも融資する、とお聞きしたこともあります。

創業100周年に向かって優良申告法人として今後も、地域社会への貢献と変わらぬ確実な経営をお願いします。モリスグループのますますのご繁栄を祈念いたします。

2022

いい会社をつくりましょう ウェルビーイング・新価値共創

主な出来事

- 3月 カーブススイオン三木青山OPEN
- 4月 アコモガーデン開設
グループ本部をガーデンオフィスに移転
- 7月 森本幸吉CEO高砂ロータリークラブ会長就任
- 10月 メンズ・カーブスアイモール高砂OPEN
- 11月 森本幸吉CEO国税局長表彰
- 11月 プログラボ西神中央校開校
- 12月 カーブスチェーン最優秀企業賞受賞
- 12月 カーブススイオン三田ウッディタウン移転OPEN

依然としてコロナ禍が続く中、ウェルネス事業部は、県下初のメンズ・カーブスをオープンしました。全国的にも17店舗目でした。レディースも33店舗目を、三木青山に出店しました。エデュケーション事業部では2校目となるプログラボ西神中央を開校。そして創業の地に、アコモガーデンの開設など積極的な事業展開に取り組みました。アコモガーデンはオフィスと2階部分の研修宿泊施設で構成されており、300坪の日本庭園からガーデンオフィスと名付けました。

特筆すべきはレディース・カーブスの快挙、2022年度ベストカンパニーとして、見事にカーブスチェーンNo.1という栄冠に輝きました。



本部移転



メンズ・カーブスアイモール高砂



最優秀企業賞受賞



カーブスコンベンション

Column

想いを持って活動 栄光の受賞

モリススマイル株式会社
ウェルネスdiv.
マネジャー
植岡 志帆



毎年12月のカーブスコンベンション。ここ数年はオンライン開催でしたが、全国のカーブスファミリーが各会場に集まり、1年の成果をたたえ合い士気を高める重要な大会です。

このカーブスコンベンション2022において、モリススマイル株式会社が取り組み内容や会員数の伸びなど全体として加盟企業360社中、No.1の企業として、ベストカンパニー賞第1位を受賞しました。私たちは、“地域の方の毎日

が健康で希望に満ちた幸せなものになるよう”、一人でも多くの方に筋トレの大切さを伝え、正しい運動習慣を身に付けていただくきっかけづくりに日々取り組んでいます。このような栄誉ある賞をいただけたのは、お客様一人ひとりを大切にサポートしてきたコーチの皆様がいてくれたからこそだと、感謝の気持ちでいっぱいです。コロナウイルス感染拡大によるカーブス全店休業など、経験したことのない厳しい状況を、歯を食いしばって乗り越え、いただいたこの賞はとても感慨深いものとなりました。

ますます支え合う仲間と互いに感謝の気持ちを伝えあい、創業90周年というモリスグループにとって大きな節目となる1年、そして100周年に向かい、更に「メンバー様が通いたくなる、愛されるクラブづくり」を目指して熱い想いを胸に、革新的なアイデアで多くのチャレンジに挑みます。

2023

いい会社をつくりましょう
スマートライフ・変化を共創

主な出来事

- 3月 カーブスヤマダストアー新青山移転OPEN
- 4月 ラ・パステルアスパ高砂店移転OPEN
- 6月 カーブスハローズ東姫路OPEN
- 11月 カーブスフードスタイル神戸学園OPEN
- 11月 モリスホールディングス株式会社へ社名変更
(モリス株式会社より)

本年は「いい会社をつくりましょうスマートライフ・変化を共創」を経営スローガンに掲げ、時代が求めるBX(ビジネス革新)・CX(コミュニケーション革新)・DX(デジタル革新)にも挑戦し、スマートライフの実現に踏み出しました。これは厚生労働省が指針を示した「健康寿命をのばす」プロジェクトでもあります。また、コロナ禍もようやく明けて、ラ・パステル、カーブス各1店舗の移転オープン、カーブス2店舗の新規オープンも実現出来ました。

11月23日には、ホールディングス制への移行に伴い社名変更を行いました。新体制への移行によりモリスホールディングス株式会社は、グループ全体の戦略策定や各社の管理に専念し、事業会社はそれぞれの事業運営に集中する体制が整いました。



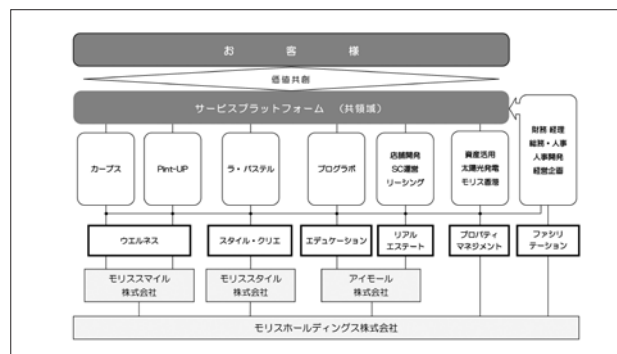
ラ・パステルアスパ高砂店



カーブスヤマダストアー新青山



カーブスハローズ東姫路



ホールディングス制導入

2024

おかげさまで創業90周年
スタートアップ・未来を共創

主な出来事

- 2月 コーポレートソング『モリスの丘』完成
- 2月 スマイル海外研修旅行再開
- 2月 第13回高砂浜風駅伝大会参加
- 3月 カーブス姫路リバーシティオープン
- 5月 コーポレートソング歌合戦
- 5月 森本幸吉CEO加古川納税貯蓄組合連合会
会長就任
- 6月 創業90周年・感謝と祝賀の集い開催

本年の経営スローガンに「おかげさまで創業90周年—スタートアップ・未来を共創—」を掲げ、「新たな起業」で未来共創に挑む重要な1年と決めました。

コーポレート・メッセージも「豊かなコミュニティ今と未来をつなぐ」に進化させ、持続可能な輝く未来づくりを目指します。

念願のコーポレートソングが完成し、5月には歌合戦、そして6月27日には創業90周年・感謝と祝賀の集いを開催しました。

秋には、新業態へのチャレンジが始まります。



歌合戦集合写真



ダイヤモンドヘッド

カーブス姫路リバーシティ
OPEN

歌合戦 当日の様子



第13回高砂浜風駅伝大会

Message

持続的成長と企業品質
向上の推進を願う

全国企業品質賞委員会
審査委員長／主席審査員
経営革新審査支援機構
理事長 明道 弘政



森本会長との出会いは、2015年5月の「伊那食品ベンチマークセミナー」で、塚越会長に継続的な健全経営についてご質問された真摯な態度が印象に残っています。

翌2016年には経営スローガンの主題に「いい会社をつくりましょう」選ばれました。副題として2023年度は「スマートライフ・変化を共創」が、2024年度は「スタートアップ・未来を共創」を掲げられ、全社員への明確なリーダーシップを

発動されています。この手法は「イノベーションにより卓越した企業経営を実現するための教科書」と言われる「マルコム・ボルドリッジ米国国家品質賞(通称:MB賞)」の基準書に盛り込まれており、30数年にわたり世界60数か国で活用されているものです。MB賞の制定は、米国のエズラ・ヴォーゲル著『Japan as Number One』が基になっています。日本のめざましい復興と企業品質における卓越性が注目され、当時は日本の成功要因が研究、分析されました。

モリスグループは日本版経営品質賞の認定で繰り返し審査を受けておられます。そして、強みとして評価された成功要因は「社会貢献活動を是とする経営姿勢の貫徹」「目的達成に向けた複合的戦略の展開」「継続的な教育機会の提供による人材育成の推進」です。創業100周年に向けて、ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

Column

夢を叶えよう

モリススマイル株式会社
ウエルネスdiv.
マネジャー

吉川 千春



企業の寿命は30年という説があり、本年迎えた90周年は、創業の心を軸に何度も生まれ変わった証と言えます。

私たちは新たな30年を見据えた節目の年に立ちあい、革新・挑戦・成長を原則とするモリスのDNAを受継ぎ、今年もスタートアップの精神で未来の扉を開きます。一人ひとりが自らの内から湧き出るパーパス(志)・ドリーム(夢)・ビリーフ(信念)を堅持し、なぜなんのためにという目的を忘れ

ず、会社と一体となって自己実現・幸せを追い求めます。

さて、森本会長が「いつの日か、わが社にも社歌を」と抱き続けた強い思いが実現しました。虹が降り立つ場所での人や物との交流や無限の可能性。私たちの絆とパッション。社歌『モリスの丘』歌合戦ではそれぞれの想いが重なり合い、感動を生みました。

毎朝の朝礼で歌い、通勤時に口ずさみ、時にはみんなと大合唱する、そんな工夫をしながら準備したことで、一挙に身近なものになりました。私たちにあって願ってもない応援歌になることは間違いありません。

創業100周年に向けて社歌を心の拠りどころとし、課題解決に、新価値共創に、そして輝く未来づくりに邁進します。思い描く素晴らしい人生を自らの力で実現できるよう、夢中で仕事に取り組み、仲間とともに夢を叶えましょう。

90周年、その先へ

モリスグループはおかげさまで創業90周年を迎えます。これもひとえに皆様方の温かいご支援とご愛顧の賜物と厚く御礼申し上げます。90年という長い年月で、昭和・平成・令和と3つの時代を乗り越え、地域社会とその時代で従事されてきた社員の皆様に支えられて今日があるのだという感謝の気持ちでいっぱいです。

四代目の後継者として入社して5年目の年になり、事業承継という言葉も金融機関の経営塾仲間から頻繁に聞くようになってきました。承継というのは、「承」と「継」の2文字で構成されていますが、事業を継ぐ以前に、創業の精神や理念、事業に込められた想いを全て、大切に承る。失敗と成功があった苦難の歴史も全て理解し、それでもこの会社を未来へと承継するという大きな覚悟が必要です。創業90周年記念誌に寄稿することで、改めて新たな章を刻む責任と使命を感じております。

さて、90周年そしてその先の未来は、ビジネ

スを取り巻く環境が、日進月歩で変わっていきます。常に情報をトレースし、新しい技術やサービスを積極的に取り入れながら、マネジメントしていく。そして、確実に到来する未来でもある、人口減少による働き手不足や生成AIの進化。ここから逆算して、どんな環境でもいい会社づくりが継続できる新たなビジネスの柱も構築していく必要があります。リアル店舗だけでなく、デジタルで、海外で、兵庫県内にとどまらず色々な場所や空間でのモリスコミュニティの構築が不可欠になります。

我々の旅はまだまだ続きますが、現在の延長線上に未来はなく、更なる高みを日々目指していきます。社員の皆様、お客様、そして全ての関係者の皆様の継続的な支援と信頼に感謝し、未来への大いなる希望を胸に、新たな歴史を刻んでまいります。

これからも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



モリスグループCOO
森本 康平・由佳里

モリスマイル株式会社 ウェルネスdiv.



モリスマイル株式会社
取締役社長
前野 嘉幸

健康生活に貢献するカーブス *Curves*

モリスグループにおいてウェルネス事業を推進するモリスマイル株式会社をご紹介します。私たちの主力業態は30分フィットネス「カーブス」です。全国に1,960店舗、会員数80万人を超える日本有数のフィットネスチェーンであるこの「カーブス」に、2007年にフランチャイズに加盟して出店を開始して以来、運動無関心層を含め、多くの方々の支持を頂戴しました。

2024年3月現在、兵庫県南部エリアにて女性用36店舗、男性用1店舗を展開しており、約15,000名の会員様にご愛顧いただいております。

超高齢社会という時代背景、そして人生100年時代を見据え「正しい運動習慣を広めることを通じて、お客様と私達自身の豊かな人生と社会の問題の解決を実現する」というパーパスを掲げ、運動の大切さ、筋肉の大切さを一人でも多くの方にお伝えし、運動を始めていただくきっかけづくりを日々行っております。

直近のマイルストーンとして、私たちが「カーブス」事業に取り組み始めて20年目の節目である2027年度内に、50店舗展開を実現し30,000名の会員様にご利用いただくことを目指しています。

目指す姿は会員様が通い続けたい、愛され続ける店

舗。お一人おひとりにしっかりと寄り添い、会員様の成果実感感を第一と考え、カーブスの原点である紹介で広がる店舗をこれからも追求していきます。

そして、グループ90周年を迎える記念すべき本年より、ウェルネス事業の新たな業態にもチャレンジしていきます。これからは「カーブス」とこの新業態により、地域の方々の健康と豊かな人生の実現を、力強くサポートしていきます。



モリススタイル株式会社 スタイル・クリエdiv.

個性とつながりを彩る LA PASTEL

ラ・パステルは雑貨をはじめ食品やアパレルなど幅広いアイテムを取り扱うお店です。アスパ高砂店・アリオ加古川店の2店舗で、雑貨を通してお客様の毎日に、わくわく感や癒し、そして特別感を感じてもらえるお店を目指しています。雑貨好きのスタッフが「想いを伝えるお手伝いがしたい」「しあわせを感じてもらいたい」という想いを込めて日々真剣に考え取り組んでいます。それがお客様と共感できた時の喜びが次のステップにつながり、やりがいにつながっています。これからもお客様とのコミュニケーションを大切に愛されるお店づくりをしていきます。



モリススタイル株式会社
スタイルクリエ div.
ラ・パステル
マネジャー
豊 真弓



アイモール株式会社 コーポレート・リアルエステートdiv.

日常生活を支える アイモール

アイモール高砂・高砂緑丘・姫路花田のショッピングモールを運営し、地域の皆さまの日常生活を支えています。また、グリーンな社会づくりを目指し、ソーラー発電事業にも取り組んでいます。

プロパティ・マネジメントの観点から、今後も保有資産の有効活用に取り組み、健全経営の一翼を担っていきます。



アイモール株式会社
執行役員
浅田 寿良

エデュケーションdiv. ProgLab

ここから始まる未来 プログラボ

プログラボは子どもたちに、ロボットプログラミング教育を通じて、ITの力だけでなく論理的思考力や問題解決能力を伸ばし、将来社会で生き抜くための力を身に付けてもらうことを理念としている教室です。プログラミング教育が小・中学校で必修化され、モリスとしても将来的にデジタル領域への様々な事業展開を模索している中、そのスタートアップとして、取り組んでいます。



アイモール株式会社
プログラボ宝殿
教室長 石原 暁

モリスホールディングス株式会社



愛されるファシリテーションdiv.へ

モリスグループにおける本部・各div.の管理業務全般を担うことで、各事業活動の後方から支援を行っているのが、『ファシリテーションdiv.』です。企業品質の向上を目指す中で、「課題解決・合意形成・学習などを、支援し促進する」を意味する『ファシリテーション』、モリスグループが掲げる「いい会社づくり」を担う一翼として、生産性の向上や社員教育、ウェルビーイングの醸成をファシリテートしていける、そんな愛される『ファシリテーションdiv.』を目指しています。



モリスホールディングス株式会社
執行役員
本城 守

持てる才能を最大限に伸ばす 人材開発部

モリスグループの人材採用・教育を担当しています。

採用に関しては、各部署のニーズを把握し、新卒採用・キャリア採用に取り組んでいます。拠点を神戸本部に置き、ここ数年は毎年30名を超える採用実績を上げています。

教育に関しては、OJTや実習、研修等を通じて、社員の能力開発・モチベーションアップに取り組み、「いい会社づくり」の一翼を担っています。



モリスホールディングス株式会社
人材開発部長
小池 雄一郎

モリスの仲間たち



イオン洲本



コープ姫路田寺



姫路リバーシティ



コープ高砂



イオン高砂



コープ西明石



イオン姫路



東加古川



網干



加古川別府



MEGAドン・キホーテ姫路広畑



メンズ・カーブスアイモール高砂



イオンタウン姫路



ゆめタウン姫路



ヤマダストア新青山



イオン土山



明石大久保



ハローズ東姫路



モリスの仲間たち



イオンフードスタイル神戸学園



ヤマダストアー朝霧



神戸舞子



須磨名谷



セリオ西神南



かすがプラザ



イオン三田ウッディタウン



イオン社



イオンジェームス山



西神中央



イオン三木青山



アスピータ明石



リファーレ横尾



サザンモール



イオン小野



イオンモール加西北条



イオン三木



コープデイズ神戸西



イトーヨーカドー明石





森本家 五世代 襷をつなぐ



創業90年。道なき道を3人の男が^{たすき}襷を繋いできた。

初代は、或いはこれが襷と思わなかったかもしれない。14歳で父親を亡くした彼は、生きるため、母親と6人のきょうだいを養うために、縁もゆかりもない島根県に渡り、炭焼きで財を成し、覚悟を決めて、播磨地方の印南郡米田村、宝殿で材木業を興した。

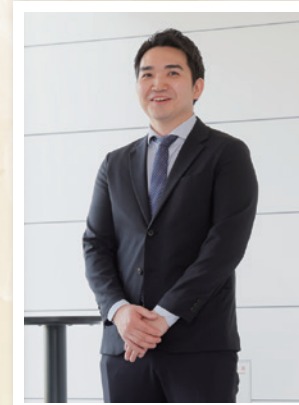
その背中を見て育った二代目は、懐の深さで人から愛され、地域になくてはならない存在となった。変革によって伝統を守る道を選んだ三代目は、モノが売れない長いデフレ不況下に、業態を変えて会社を成長させた。

汗と苦悩と喜びを吸い込んだ襷は、四代目に渡ろうとしている。令和2年1月20日。大寒の真っ只中というのに、小春日和のような一日だった。モリス初出社の康平は、出勤前、祖父母宅を訪ねた。祖父克己は、体調が優れない中、ベッドから体を起こし、孫の初陣姿に目を細めた。祖母榮子は、仏壇に線香をあげ手を合わせる康平の、まっすぐ伸びた広い背中を見て、目頭を押さえた。

しかも康平は二人の子どもを授かっている。いつの間にか重みを増し、“伝統の襷”となった代物を受け継ぐ若き走者へ。「気負うことはない。偉大な成功者たちも、かつては未熟な挑戦者だったのだから。」

90年の先にある1年も、これまでと変わらず、真新しい。

森本家四代の歩み「ゆずりは」巻頭文より



スチュワードシップ

フジマネジメント有限会社 代表取締役 藤原 勲

わたしたちの成功の秘密、それはわたしたちの会社には何世代にもわたって引き継がれてきた信条があり、そんな企業で働いていることを皆が誇りに思っていることだ。

SCジョンソン 第四世代リーダー サミエル・カーティス・ジョンソン・ジュニア

スチュワードシップとは、受託責任を負うことです。ファミリー企業においては、ファミリーの財産や事業を先代から受託されたものとして引き継ぎ、より価値を高めて未来の世代に渡していく利他的な精神が求められます。モリスを創業された森本家は四代に渡りこの姿勢を継承されています。五代目も誕生され、この伝統は力強く引き継がれていくことでしょう。益々のご繁栄をお祈りいたします。



森本ファミリー

森本晋平

塩崎篤史・麻友

「コーポレートソング」

モリスグループの90周年を記念してコーポレートソングが完成しました。作詞・作曲は数多くのヒット曲があるデュオ「紙ふうせん」の後藤悦治郎さん。

当社の想いや夢を素敵なメロディーにのせてくださった『モリスの丘』を社員みなで心をひとつに、大切に歌い続けていきます。



紙ふうせん
後藤悦治郎さん・平山泰代さんより

瀬戸内海気候の地に、縹色した海につながる空があり、雨あがりの虹がかかる「丘」がある。

ずっと昔から、虹が生まれた所、虹が降りた所に「市」が出来、人々の交流の場となり、町になった。

人と物とが出会う場所、それが「モリスグループ」であり、「モリスの丘」なのです。

その「モリスの丘」が、SDGsへの姿勢と環境に配慮していると、2番の歌詞で表現しました。



歌合戦開催

コーポレートソング『モリスの丘』

90周年を目前にした2024年5月18日に、高砂市文化会館にて創業90周年記念社歌『モリスの丘』歌合戦を開催しました。



モリスグループコーポレートソング

『モリスの丘』

作詞/作曲 後藤悦治郎

- 1 虹がかかったモリスの丘に ^(はなだ) 縹色した空に大きく
君のほほえみ君のまなざし
つないでゆこうあしたのために
モリスの丘であなたと私 命の花を咲かせてゆこう
この町が好きあなたと私 夢を語ろうモリスの丘で
ラ～ララ

2 水がきれいなモリスの丘に 子供が遊び蛍飛びかう
風がきれいなモリスの丘に
小鳥が遊び季節をはこぶ
モリスの丘であなたと私 命の花を咲かせてゆこう
この町が好きあなたと私 夢を叶えようモリスの丘で
夢を叶えようモリスの丘で



早く来い、来い 100 周年

70 周年、80 周年、そしてこの度は 90 周年記念誌の制作に携わらせていただきました。

最も古い記念誌は 35 周年です。創業者森本幸治翁の記述にしみじみと、創業から高度経済成長への道のりを味わいました。

ひとつ披露したいと思います。私たちにとって、あることが当たり前のモリスグループ本部周辺の広やかな敷地について。大戦後には、田畑を持っていたも役には立たないという価値観が蔓延したそうです。手放したいと思う近隣の方々が、森本さんなら良い値で買ってくれる、と自発的に買い取りを申し出られ、とても有難いと感じていただいた賜物と聞いています。

いつの時代でも抜苦与楽、そんな素封家としての姿勢が回りまわって幸せをもたらしてくれるようです。

この精神は、「なせば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」の初代の信念、そして二代目克己翁の「初心生涯」に受け継がれ、今日の「モリスゴールドスタンダード」へと襷をつないできました。

私は、一世紀、100 年の伝統と成長をこの目で確かめたい。その業容はどのようなものなのか、社員の皆さんは何に取り組んでいるのだろうか。きっと創業の精神は、脈々と流れているに違いありません。そんなことを思う、創業 90 周年記念誌発刊の日です。

皆様ご承知の通り、創業 50 周年に初代、二代目、そして森本幸吉最高経営責任者の三代がそろい踏みしました。以降の 40 年間は、豊かな暮らしのお手伝いを土台に、新しい生活文化の創造の仕掛けに取り組む過程で、森本会長は豊かなコミュニティづくりに邁進していたことに気づかれました。私も、ご一緒させていただき、一風変わった補佐役として、今を未来につなぐ 90 周年を迎えています。

幾多の課題を元気に明るく解決し、早く来い、来い 100 周年。

Keep Smiling。企業という名のドラマを心の底から楽しみ、その日を、大木に育った幹の陰からそーっと垣間見ているシーンを心に描きつつ、編集後記を締めくくります。



90周年記念誌 編集委員長
市川 義久

表紙の写真提供:中村 嘉博氏(ラミネートカンパニー)

モリスグループ創業90周年記念誌 飛翔

2024(令和6)年7月1日発行

発行 モリスホールディングス株式会社
兵庫県高砂市米田町島83-1
TEL : 079-431-3515

編集・制作 株式会社 出版文化社
大阪・新大阪 東京・日本橋茅場町 名古屋・金山
印刷・製本 大村印刷株式会社